梱包サイズ計算

（1）基本的な計算方法について

マスタに登録した商品のサイズから、疑似的に箱を作成し、一番大きな商品から順番に段ボールに入れて計算していきます。

一番大きな商品を段ボールに入れ、入る段ボールを検索します。

商品が入ったら、その段ボールの空き空間を数値化して保留します。

保留した空間に、次の商品を入れて、入ったらまたその空き空間を保留します。

順番にその作業を行ない、全て入るかを検索していきます。

途中で商品が入らなくなったら、再度段ボールの検索をし直します。

※段ボールは小さいサイズから検索していきます。

（2）商品が1つの時

商品が1つの時は、入る段ボールの検索を一度掛けます（A）が、決まった段ボールが無いと梱包サイズが大きくなって結果が出てしまうので、商品自体のサイズから梱包サイズを検索（B）し、（A）と（B）で小さい方のサイズを選択します。

（3）複数便になる時（160サイズを超える商品がある場合）

商品を段ボールに入れる計算で、商品の大きいサイズから計算していきますが、最初から160サイズを超える商品がある場合は、その商品は別便とします。

単品梱包として、梱包サイズを計算します。

（4）複数便になる時（160サイズを超えない商品で発生する場合）

複数商品を入れる計算の途中で160サイズを超えてしまった場合は、大きいサイズの商品から別便にします。

単品梱包として、梱包サイズを計算します。

（5）複数商品で同じサイズの商品だけの時

先に商品を1つのまとまりとして計算し、そのまとまりで梱包サイズを計算する。